

# 募集 令和4年度 歳末たすけあい募金 地域福祉活動補助金 実績報告会を開催します。

地域福祉活動補助金は、歳末たすけあい募金を財源とし、地域福祉の推進と地域共生社会の実現を図ることを目的としています。対象団体は、ボランティア・非営利団体で、令和4年度は4団体に補助金を交付しました。

実績報告会では、各団体が取り組む地域活動を報告します。令和5年度に、補助金の活用を検討している団体をはじめ、多くの方のご参加をお待ちしております。詳しくは、社協ホームページをご覧ください。



NPOころあ ウクライナチャリティー上映会の様子

- 日時 令和5年2月10日(金) 午後2時~3時半 (午後1時45分受付)
- 場所 中央町地区センター 第3・4会議室(中央町6-1-1)
- 定員 20人(先着順)
- 申込み 申込フォーム、メール、電話、窓口



(申込フォーム)

[申し込み・問い合わせ] 地域福祉担当 ☎042-475-0739 ☎042-476-4545  
メール volunteer@higashikurume-shakyo.or.jp

## 報告団体の紹介

### 立上げ資金

#### ① NPOころあ

世代、性別、国籍、人種、障がい、性自認など多様性のあるすべての市民が参加できるコミュニティづくりをします。(4面をご覧ください)

#### ★解決したい課題

属性で分断されがちな市民活動を横断的につなぐ。公の支援対象から外れがちな、生きづらさを抱えたすべての人の精神疾患の(再発)予防や回復期にある人の支援

### 事業資金

#### ① 防災まちづくりの会・東久留米

東久留米市を災害に強いまちにするため、地域防災力向上に関する調査研究およびボランティア活動を実施しています。地域防災活動のデジタルアーカイブを作成中です。

#### ★解決したい課題

消えゆく活動の記憶を保存し、防災活動への啓蒙を行う。

#### ② 住みよいまち弥生

生活課題を共有し、解決に向けて話し合い、顔の見える関係をひろげ、誰もが住みよいまちづくりを進めます。

#### ★解決したい課題

地域防災に関する意識の向上、顔の見えるつながりの強化

#### ③ 東久留米にほんごクラス

地域に暮らす外国人のために、日本語を学び合うとともに、日本文化等を紹介する活動を展開しています。

#### ★解決したい課題

学習者が学習から脱落することを防ぐ。参加者同士でコミュニケーションを行う集団教育のメリットを引き出す。

# from ボランティアセンター

ボランティアセンター

月~金曜日 午前8時半~午後5時15分



042-475-0739

災害ボランティア情報:ホームページ、メール配信にて随時お知らせしています。

## 報告

## 令和4年度 災害ボランティアセンター市民スタッフ養成講座



災害ボランティアとは、被災して様々な困難に直面している市民の生命、生活、人生にとって必要なことに、積極的に関わる人たちのことです。発災時、本市の災害ボランティアセンターは社協に設置され、社協は災害ボランティアセンター市民スタッフと共に被災者と災害ボランティアをつなぐ役割を担います。今年度、3年ぶりに同市民スタッフの養成講座を開催。新たに13人が加わり、登録者は総勢48人になりました。

### 1日目 9月24日(土)

発災時、まずは、自分の安全が確保できていることが大切です。

前半は、市防災課より、自助・共助の重要性についての話を聞き、東京都の首都直下地震等による被害想定から、被災時のイメージをつくりました。

本市の地震被害の負傷者数は620人と想定されています。



講師の話に聞き入る受講生

後半は、災害支援・防災教育コーディネーターの宮崎賢哉氏を講師に、自助・共助活動と災害ボランティア活動について、具体例を交えて内容を整理し、学びを深めました。

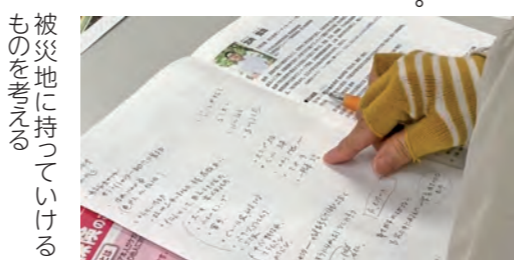
### 2日目 10月1日(土)

#### 災害ボランティアセンター立上げ演習Ⅰ ~災害ボランティア視点編~

グループに分かれて、災害ボランティア活動者の視点から活動時に必要な備品や現地で想定される危険について考え、資機材など具体的に書き出しました。



ガラスが割れているので、安屋内に入る必要はない。



被災地を持っていくものも考える

### 3日目 10月8日(土)

#### 災害ボランティアセンター立上げ演習Ⅱ ~市民スタッフ視点編~

災害ボランティアセンターの市民スタッフとして、ボランティアの受付、オリエンテーション、マッチング、送り出し、資機材の貸し出しなど、一連の流れを体験しました。市民スタッフは、災害ボランティアセンター全体の動きを考えなくてはなりません。予測できない質問やその場で判断しなければならないことも多く、実践的な演習になりました。



ピンク色の専用キャップは市民スタッフの目印

### 受講生の感想

★意見を述べるだけでなく、自分で考え、自分で行動することの大切さや日常では起きえないトラブルが発生した時の自己判断と報告などを学ぶことができました。

★演習ではありませんが、貴重な体験ができました。災害ボランティアセンターには多くの人が必要であり、連携がとても重要だと感じました。

## 募集

## ボランティア相談を受け付けています

【問い合わせ】ボランティアセンター ☎042-475-0739  
メール volunteer@higashikurume-shakyo.or.jp

「ボランティア活動をしたいけど、なにから始めたらいいかわからない」

「特技はないけど、なにができることをしたい」

「定年退職して時間がある」

ボランティアをはじめたい方へ、ボランティアの基礎から丁寧に寄り添い、あなたに合う活動を見つけてお手伝いをします。趣味や特技がなくても大丈夫です。まずはご相談ください。ボランティアセンターまで来ることが難しい方には、お近くの公共施設でご相談に応じます。ボランティアの依頼も随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。



# 〈地域福祉コーディネーター事業〉

市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に担当職員1名を配置しています。

【連絡先・問い合わせ】  
市地域福祉コーディネーター(社会福祉協議会 ボランティアセンター)  
☎042-475-0739 ☎042-476-4545

生活の中での悩みや困りごと、地域の中で感じていることや気になっていることなど、自分だけではなくお知り合いのことでも結構です。地域の皆さまと協力して解決に向けたお手伝いをします。

## 募集

## お話を聞くだけでもかまいません ~ひがしくるめ ひきこもり家族会準備会~

家族が学校にいかない、家にこもっている、仕事をしていない、関わり方がわからない...同じ悩みを抱える方向士が思いを語り、安心してつながれる家族会の立ち上げを支援します。

日時 12月11日(日) /会場:中央町地区センター(中央町6-1-1)  
1月15日(日)、2月12日(日)、3月12日(日)  
/会場:東久留米市役所7階701会議室(本町3-3-1)  
いずれも午後2時~4時(午後1時45分受付、入退室自由)

【対象】 ひきこもり状態にある本人または家族  
【定員】 20人(各開催日4日前までに申し込み)  
【内容】 参加者同士の交流  
【参加費】 無料  
【申し込み】 申込フォーム、電話、ファクスにて  
①氏名(ふりがな) ②年代 ③連絡先をお知らせください。



(申込フォーム)



## 報告

## 第3回フードドライブ・フードパントリーご協力ありがとうございました

(共催:東久留米フードパントリーひよこ・東久留米市協)

9月14日(水)から10月14日(金)にかけて、多くの皆さまにご協力いただいたフードドライブでは、保存可能な食品や日用品など、33種類3,202個のご寄付をいただきました。

集まった食品と助成金を活用した購入品をまとめ、10月30日(日)フードパントリーにて120セットを配布しました。会場の市民ひろばでは、子どもたちが楽しめる「ヨーヨー釣り」や生活上の相談ができるブースも。

「私たちは小さな会だが、数多くの皆さまに支えられて成り立っている」と「ひよこ」代表の古谷さん。「支援を求めている会場に来られない人をどうするか。行政や関係機関と連携しながら課題を検討してすめたい」と、今後の展望を見据えます。

次回は来年5月に予定しています。引き続きご協力をお願いします。また「ひよこ」では、食の支援にご賛同くださる皆さまからの寄付金と一緒に活動する仲間を募集しています。



食品を袋詰めするため、仕分けをする「ひよこ」スタッフ

(※)フードパントリーの様子はYouTubeショートで公開



【連絡先・問い合わせ】 田守 ☎080-5652-1057 (平日 午後1時~4時) 古谷 ☎080-2007-3558 (平日 午後7時以降/土・日 午後1時~4時)